

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input type="checkbox"/> 有 種類()	<input checked="" type="checkbox"/> 無	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 場所()	<input type="checkbox"/> 現地
必要書類、手続き 手続きに要した期間	3ヶ月以上の滞在にイカメット（滞在許可書）が必要。手続きに必要な書類などは現地の大学に用意してもらった。許可証受け取りまで1~2ヶ月。				
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	特になし。				
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> 独語	<input type="checkbox"/> 仏語	<input type="checkbox"/> 中国語	
	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> その他（トルコ語）			
勉強方法	自学。以前トルコ人留学生と知り合ったので、その学生にトルコ語を教えてもらった。				
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	役所などの対応が日本ほどしっかりしていなかったため、時間がかかった。				
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	円	
	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	
	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			
	渡航費（ <input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復）9万円				
	海外旅行保険料 15万円				
	<input type="checkbox"/> その他（	）	円		

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	ターキッシュエアライン	手配	ターキッシュエアライン WEB サイト ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→香港→イスタンブール	到着時刻	15:00 【※移動時間(約18時間)】
大学(寮)への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港からバスセンターまで向かう。一般の人は親切で色々教えてくれる。ただしイスタンブールは観光客向けの物売りなども多くいるので注意。タクシーは高いので公共交通機関が良い。		
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート その他()	住居 手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他(留学先の学生から紹介)
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(3LDK)	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他(トルコ人学生)
住居の申込手順	全てルームメイトに任せていた。		
住居でのトラブル および解決方法	特になし		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	バス		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 円/月 (生活費内訳) 住居費: 6000 円/光熱費: 2000 円/通学費: 2500 円 食費: 20000 円/通信費: 1000 円/書籍代: 0 円 (学校から支給) その他: () 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの: 0 円 (徴収された費用の名目:)		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	イカメットや保険、携帯電話など全ての手続きにおいて現地の人のサポートがあったほうが良い。海外から持ってきた携帯電話はトルコ政府に登録しないと3ヶ月で使えなくなる。政府に費用を払って登録するか、新品もしくは中古の携帯をトルコで買う必要がある。国際クレジットがほとんどの場所で使えるが、一部店舗で使えないことがあるので現地のカードも作っておいたほうが良い。		

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語		
10:00	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語		
11:00	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語		
12:00	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語	トルコ語		
13:00							
14:00			授業 Literature of colonization				
15:00	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	
16:00	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	
17:00	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	
18:00	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	自学 (図書館)	
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学を通じて考え方や海外での生活の心得など多岐に渡って自身の成長ができたと思う。

今回、トルコ語を全く知らない状態で留学した。全く話せない状態で一年間語学がどれだけ成長するかという挑戦を自身でやってみた。初めの3ヶ月は全くわからない状態が続いたが、3ヶ月を過ぎると少しわかるようになり、6ヶ月を過ぎると1人で旅行できるようになり、1年で日常会話を問題なくできるようになった。まだまだアカデミックな問題については難しいが自分の中では二年間集中して学習すれば語学を取得できると感じた。

留学中は大小、様々な問題が必ず発生する。その際どんなに焦ったとしても上手くいかないことが多い。そうした際、「なんとかなる」や「大丈夫だ」という心持ちで、様々な方法で解決に挑み、また友人や知人にとにかく相談してみることが解決のカギだと感じた。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

留学において最も大切なことは良い友人と出会うことだと感じた。今回の留学は何もわからない状態からのスタートだった。しかし、様々な人と出会い、助けてもらった。今回の留学で1番の財産はこうした人との繋がりだと感じる。

特に私の場合、ルームメイトに恵まれたと感じる。留学当初、毎晩授業でわからなかったトルコ語について教えてもらった。また一緒に食事を取り、週末には飲みに出かけ、長期休暇の際は彼らの実家に宿泊などした。私も彼らに日本語を教え、日本食を振る舞うなどして楽しい日々を過ごしながらか、お互いについてより深く知っていった。

留学中、他の街にいる日本人留学生とも交流する機会があり、彼らの活動に刺激を受け、情報交換をし、自分も頑張ろうという気持ちになった。これから留学する人たちには是非そういった機会も活用してほしいと思う。

留学を通しての感想

留学を通じて、体験しないとわからないことや知らないことが本当に沢山あることに気がついた。メディアや書籍で入ってくる情報と現地でわかったことのギャップで驚くことが多々あった。帰国してから様々な人からメディアなどから想像するトルコのイメージ、例えば中東の戦争や、伝統的ムスリムの生活などについて聞かれることが多い。しかし留学先の街、チャナッカレは治安も良く、西洋のような街並み、ムスリムもいればお酒を飲む人もいる街であった。こうした生の情報や体験は現地で暮らさないとわからないということに改めて気付かされた。

また、海外の人と文化や宗教など普段なかなか聞けないことなどを話し合った。仲のよい友人など気兼ねなく率直に話せる仲でないとこうした話はなかなかできない。このようなチャンスが沢山あるのが留学であると感じ、留学を考えている人には是非、体験してもらいたいと思う。